

科目名		電気工事実習Ⅰ				
担当教員		斎藤 町田 清野		実務授業の有無	有	
対象学科		電気電子工学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択		必修	単位数		時間数	192
授業概要、目的、授業の進め方		一般用電気工作物のケーブル配線工事、金属管工事、合成樹脂管工事を組み合わせた実習課題を時間内に作成する。指示書から設計、施工計画、配線図、材料準備、施工、検査、を行う。				
学習目標 (到達目標)		電気工事士技能試験を合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		電気工事実技教科書（独）雇用・能力開発機構、配布プリント等				
NO.				学習方法・準備学習・備考		
1	工具の使い方			配線図の課題を納期に間に合うように施工する。		
2	電気工事材料の知識			金属管の切断、曲げ加工、接続を行う。		
3	電線の接続			合成樹脂管の切断、曲げ加工、接続を行う。		
4	配線器具の接続			自己保持回路、インターロック回路の作成。		
5	ケーブル配線工事			センサーを使った回路の作成。		
6	金属管の切断と曲げ加工			引込線布設と分電盤取り付け		
7	金属管工事			電力計の取り付け		
8	合成樹脂管の切断と曲げ加工			電柱の昇り降り。安全管理。		
9	合成樹脂管工事			低圧電気取扱い。高所作業車。フルハーネス作業。		
10	電気工事士技能試験問題			電工1種技能試験公表問題を練習。		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
平常点	課題	期末試験		作業着、工具、安全靴、帽子など安全管理をしっかりとしましょう。		
5 %	15 %	80 %	%			
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴		電気技術者として4年の実務				